

テクノロジーを活用した  
介護業務の生産性向上に貢献介護に、  
チカラを。

## 株式会社ファントム

桐生市

- ▶ 代表者: 石井 伸和
- ▶ 設立年月日: 2018年3月29日
- ▶ 資本金: 100万円
- ▶ 従業員数: 2人
- ▶ 住所: 桐生市相生町5-2091-7
- ▶ TEL: 0277-32-3838
- ▶ Mail: hello@fantom.co.jp
- ▶ URL: https://fantom.co.jp

会社HPへは  
こちらから→



## 企業紹介

テクノロジーの力で介護業界の未来を変える企業として、介護記録システム「バイタルチェッカー」、見守りAIカメラ「Casper(キャスパー)」を開発しました。

介護現場での「人とテクノロジーの協業」が業務時間の節約や精神的なゆとりの創出につながり、さらには利用者やスタッフ間の豊かなコミュニケーションの創出へと発展します。

ITによる業務効率化を軸に、介護業務の生産性向上に貢献しています。

## 経緯・背景

祖父の介護に寄り添った経験をもとに、介護現場での人手不足や、それに起因する様々な問題を解決するため、これまで培ったITの知見を駆使して「新たな視点から介護の未来を創造する」挑戦をスタートしました。

超高齢社会において高齢者が増える一方で支える人口が減り、介護業界では人手不足が原因で発生する事故や事件が増加しています。また、少人数での対応や長時間労働等で施設利用者が満足するケアができていません。

## 具体的な取組

AI(人工知能)を活用した介護施設利用者のバイタルデータの解析や映像から行動を予測するシステムを開発。IT、AIによる業務効率化で属人化した介護業界の生産性を向上し、利用者が本来受けられるケアを当たり前を受けられる仕組みづくりに貢献しています。

## ・介護記録システム「バイタルチェッカー」

バイタルチェッカーは、いちばん大切なケアの時間を増やすために「転記作業」や「集計作業」を効率化する介護記録システムです。シンプルで分かりやすい設計のため、ITシステムの導入が初めての施設でも安心して導入ができます。



## ・見守りAIカメラ「Casper(キャスパー)」

工事不要で設置可能な見守りAIカメラです。AIがカメラで撮影した映像から入居者一人ひとりの行動の癖や特徴を学習し、転倒等の危険な行動につながる前兆があった場合に通知します。



## 成果・効果

- ・情報共有が効率化されて円滑なコミュニケーションができるようになりました。
- ・負担軽減により作業効率上がり生産性向上につながりました。
- ・ケアに当てられる時間が増えたことで利用者の満足度が向上しました。

## 当社にとってのSDGsと、その展望

- 3. すべての人に健康と福祉を
    - ・健康寿命の延伸
    - ・高齢化社会への対策
- 介護する人も介護を必要とする人に嬉しい世界の実現を目指しています。